２０１５年8月２５日　Ｎｏ１６５

CTG 建交労 とちぎ

発行所　全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
TEL 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.dumptcg.org/
E-mail:kenkourou@dumptcg.org

いよいよ山場。「戦争法案」阻止の闘いは世論が決します。九月五日、午後二時～佐野駅南口広場で「戦争はゴメンだ！市民パレード」が開催されます。いまこそ声を上げるとき！　ぜひご参加ください。

県・県警に現場の声を

八月三日、第二十二回栃木ダンプキャラバン行動を支部代表ら十五名が参加して行いました。

【栃木県への要請】

組合員らは、高齢化が進む現場の現状を説明し「過積載をしなければ生活できない業界では『担い手』は育たない」と改善を訴えました。

栃木県は、ダンピング(買いたたき)防止を目的に、発注工事現場で県職員による単価調査を継続しています。

調査は今年二月に実施、個人持ちダンプ四十四人、運転手三十人から聞き取りを行い、前年比で平均二千円程度上がっている結果が報告されました。ただし、個人持ちでは三万一千円といった数字も報告されており、県の設計単価との開きは依然として大きい結果となっています。

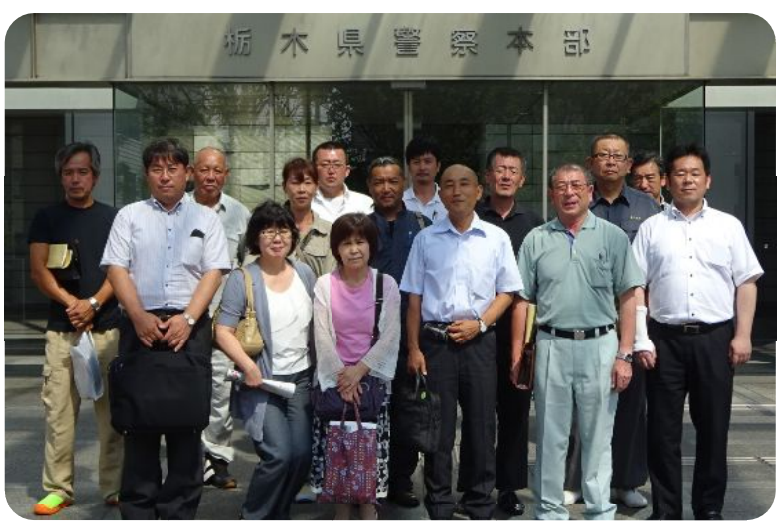
【栃木県警への要請】

今回は過積載問題だけでなく、依然として続いているダンプ盗難問題について、対策強化を求めました。

県警側は初めて交通指導課だけでなく、生活安全企画課からも出席しました。組合では盗難車両解体の温床になっている「ヤード」に対する立ち入り調査の強化など具体的に対策を指摘、生活の糧を奪われた仲間の苦しみを訴えました。

今年で22年目になる県、県警に対する要請行動。組合員が現場の実態を訴える重要な取り組みになっています。(写真は県警)

「年間通して働きたい」仲間の最も切実な要求である仕事量の平準化についても、具体的な対策を求めました。(県)



35℃の猛暑日に要請行動に参加した組合員。ご苦労様でした。(栃木県警察本部前で)

福島から長崎にタスキを 反核平和マラソンに伴走

広島、長崎への原爆投下から七〇年目の今年、原発事故の被害に苦しむ福島から長崎まで走って「戦争反対」「核兵器廃絶」を訴える反核平和マラソンが行われ、県本部役員二名が宣伝カーで宇都宮から東京夢の島公園までを伴走しました。

七月二十六日、朝から猛烈な日差しが照りつける県庁前を出発。前日福島県庁前から約五十名のランナーによってつながれたタスキをかけたランナー達は国道四号線を南下。途中いくつかの給水ポイントではスタッフがランナーをサポート、屋外での運動厳禁気温のなか、予定時刻を若干遅れはしたものの、午後七時頃無事この日のゴール夢の島公園に到着しました。

ランナーはその後広島を経由し八月八日、ゴール地点である長崎平和記念公園に到着しました。

途中からフランス、韓国からのゲストランナーも参加、猛暑の十五日間、千八百キロもの距離をタスキでつなぎ、核兵器廃絶、「戦争法案」反対を訴える大イベントは無事終了しました。

オーバーヒートが心配された宣伝カー。頑張りました。

被爆地フクシマからヒロシマ・ナガサキへ(草加駅)

今年のダンプ支部定期大会(11月15日)では「マイナンバー学習会」を予定しています。